

山梨市長 職員不正採用

中学校長贈賄容疑で逮捕

今春 息子の合格依頼?



望月清賢容疑者



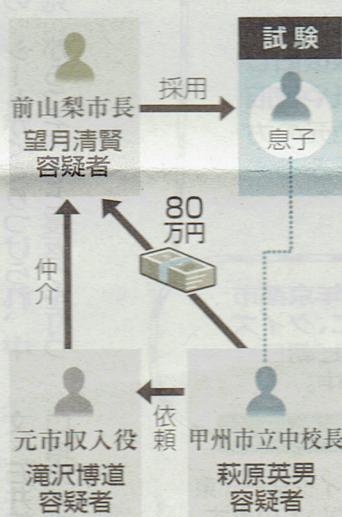
萩原英男容疑者

山梨県山梨市の職員不正採用事件で、中学校長の息子の採用を巡り、便宜を圖った謝礼として現金を受け取ったとして、警視庁は二十一日、収賄の疑いで、前市長の望月清賢容疑者(七〇)、虚偽有印公文書作成の疑いで逮捕を再逮捕した。また、贈賄の疑いで、同県甲州市立大和中学校長の萩原英男(五七)、山梨市上岩下、知人で元山梨市収入役の滝沢博道(七三)、同市市川の両容疑者を逮捕した。

捜査関係者によると、萩原容疑者は、自分の息子が

昨年秋に市職員の採用試験を受けるに当たり、滝沢容疑者を通じて望月容疑者に採用を依頼した可能性がある。息子は試験に合格し、今年四月に市に採用された。捜査二課は、採用に不正があったかどうか、加重収賄容疑も視野に調べる。

山梨市前市長贈収賄事件の構図



逮捕容疑では、一月上旬、職員の採用試験で、特定の受験者が便宜を受ける見返りとして、現金八十万円を受け渡したとされる。

山梨市役所では前市長再逮捕と、市の収入役たつた滝沢博道容疑者が逮捕され、衝撃が走った。逮捕の一報を聞いた丸山一朗秘書

人事課長は「えっ」とひと言発し、驚きを隠せない様

子。同課の電話はひっきりなしに鳴っていた。取材に応じた飯島尚敏副市長は「市民の皆さんに申し訳ない」と頭を下げ、採用された萩原容疑者の息子について「検査を見守って対応をして決めたい」と説明した。

捜査二課によると、望月容疑者は「間違いありません」と容疑を認めている。他の二人の認否は明らかにしていない。望月容疑者は今月七日、別の受験者の採

用を巡り、筆記試験の点数を水増ししたなどとして虚偽有印公文書作成・同行使の疑いで逮捕され、処分保留となつた。十二日付で市長を辞職している。

市役所電話鳴りやまず

バレーボール指導で活躍

逮捕の校長、県協会役員も

前市長 借金7000万円 疑惑絶えず

い」と批判した。

昨年には、採用試験で市長が採点に関わる面接の点数を二倍に変更。地元住民によると、県内の公務員試験対策の学校では

「金を払わない」と山梨市職員になれない」と話題になっていた

という。

不正採用も含め、黒いうわさを否定し続けた望月容疑者だったが、七月に虚偽有印公文書作成

山梨県山梨市役所の職員採用を巡り、収賄容疑で警視庁捜査二課が二十一日に再逮捕した前市長望月清賢容疑者は、昨年時点で約七千万円の借金を抱えていた。

選に自民党推薦で出馬し、現職を破り初当選。地元出身で、石材会社「差出石材」の経営などを通じ幅広い人脉を築いてきた。押さえられていた」と指摘す

「国会議員ともパイプがある。一二一三年には、差出石材